

3月の園だより



R7年度 富田林市立喜志幼稚園

希望の春

「春一番」が吹いたとの便りが、各地から届きました。喜志幼稚園では、柔らかい春の日差しが、子どもたちの笑顔を暖かく包み込んでいるようです。

今年もいよいよ年度の締めくくりの月を迎える頃となりました。日々、いろいろな場面で子どもたちの成長をふり返っては、感慨深いものを感じています。

先週2月20日には、ドリーム21へ「お別れ遠足」に出かけました。天候にもめぐまれ、3学年の子どもたちが一緒にお弁当を食べたり、思いっきり体を動かしたり、ともに楽しい時間を過ごすことができました。2月25日には「最後の誕生会」、27日には「最後のお茶会」がありました。3月6日には、ほし組さんとの「お別れ会」が予定されています。子どもたちはこの一年、友だちと楽しい日々を過ごしながら笑ったり、時には泣いたり、たくさんの思い出ができました。これも保護者の皆さまが、いつも園生活を温かく見守ってくださったお陰であると思っています。

いよいよ3月19日は、幼稚園生活を締めくくる、ほし組さんの「卒園式」です。今年度一番年長として頑張ってきたほし組さんと過ごせる時間も、あとわずかです。楽しい思い出を胸に刻み、新しいステージに希望を持って踏み出してほしいと願います。

園では、新しいクラスへの準備も始まっています。お兄さんお姉さんになるはな組さんやみかん組さんも、新年度に向け夢や希望で胸をふくらませているようです。幼稚園での思い出がよきものとなるように、子どもたちとの時間を大切に過ごしていきたいと思えます。

結びに、この一年子どもたちの元気な姿や成長を保護者の皆さまと共有できたことは、私たちにとって何よりの喜びでした。園として、保護者の皆さまのご期待に沿えなかったことも多々あったかと思えます。それでも、いつも寛大なるご配慮をいただき支えていただいたことに、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちが健やかに成長する姿を楽しみにしています。また、豊かな園生活のために、行事や体験活動の実施にお力添えいただいたPTA役委員さん並びに地域の皆さま方に、心より感謝申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

園長 古村勝俊

【月のねらい】

- 3 歳児 ・ クラスや異年齢の友達との関わりを楽しみ、進級に期待をもつ。
・ 身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。
- 4 歳児 ・ 進級する喜びや期待をもつ。
・ 春の訪れを感じ、友達と一緒に伸び伸びと遊ぶ。
- 5 歳児 ・ 充実した幼稚園生活の最後を送る。
・ 進学への喜びと期待をもって意欲的に活動に取り組む。

いよいよ、今年度の締めくくりの時期を迎えました。3学期になり、5歳児のドッチボールに4歳児が「入れて～」とやって来て一緒に遊ぶ姿も見られています。残り1カ月の間に、5歳児と一緒に過ごし、「5歳児が園生活で知ったこと、感じたこと」を3,4歳児に伝える機会を積極的に設けたいと考えています。5歳児が改修したビオトープのことやウサギのキャラメルちゃん、モルモットのしろ君のこと、縄跳びのコツ、リレーの楽しさ・・・どんなことが「伝授」されるのでしょうか？5歳児は「伝えることで自信」がつくことでしょう。3,4歳児は教えてもらい「意欲」につながるでしょう。それぞれの進級、進学において、大切な経験を応援したいと考えています。

3学期末に1年間の絵画制作の作品を持ち帰ります。持ち帰った際には、「素敵な色合いだね」「楽しい作品だね」「細かいところまで描いたね」など嬉しい言葉をかけてあげてください。そして、子どもの目の前で雑に扱わず大切に扱いましょう。しばらくの間、リビングに飾ったり、写真を撮って額に入れたり、家族で楽しんでください。今しか描けない絵、純粋な思いで描いた作品に癒されることと思います。